



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 “Be Y’ smen in Deed not Y’ smen in Need” [求めるワイズから 行動するワイズへ]
 アジア会長標語 “Lead by your own Action” [行動するリーダーになろう]
 西日本区理事標語 “Go Forward with Love and Courage” [すすめ、愛と勇気をもって]
 中部部長標語 “Think Together Act Together” [共に考え 共に行動]
 クラブ会長標語 “Lets move for future of the Earth !!” [地球の未来のために行動しよう]

2005年10月号

———＜今月の聖句＞———

何事も利己心や虚栄心からするものではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れたものと考え、めいめい自分のことだけではなく、他人のことにも注意を払いなさい。

フィリピの信徒への手紙2章3節～4節

グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

2005年10月例会ご案内

◎第一例会

と き : 10月6日(木)
 ところ : 名古屋YMCA
 時 間 : 19:00～
 内 容 : アジア大会報告会
 ドライバー 荒川 恭次 君

8月に韓国のソウルで開催されたワイズメンアジア地域大会について、グランパスからは、早川、服部、阿部、荒川が参加しました。併せてサンドルクラブともIBC交流を行い内容の充実したものとなりました。それらを画像を使って報告します。

◎第二例会

と き : 10月20日(木)
 ところ : 名古屋YMCA
 時 間 : 19:00～

◎国際街頭募金

と き : 10月2日(日)

◎根の上まつり

と き : 10月10日(祝)

◎南山バザー

と き : 10月23日(日)
 ところ : 南山ファミリーYMCA
 時 間 : 詳細は別途連絡します

9月例会	例 会 出 席 状 況	B F ポイント	クラブファンド(9月)
在 席 者	16名 第 1 例 会 名	当 月 ・ 切 手	ニコ BOX ノート
例会出席者	名 第 2 例 会 名	当 月 ・ 現 金	感 謝 ファンド
当月出席率	% 部 会 他 名	累 計	累 計

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

＝強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う＝

第一例会報告

9月第一例会

卓 話 「いま、これからのYMCA」
講師 松本名古屋 YMCA 部長

[卓話内容]

新名古屋 YMCA となって今の YMCA の現状とこれから向かう方向、それに伴うワイズ活動等について卓話をしていただきましたが、本来は卓話を加藤総主事をお願いすべきですが、当日他の用事で松本部長にお願いし1時間にわたって質疑応答の形とゆうよりも懇談会形式で進められました。

内容として初めに、今までの移転等に関しての経過を説明していただき、現状の財務状況と事業内容、そして今後の YMCA の考える方向を現在とこれからの YMCA の経営的な面と方針について意見交換があり、当グランパスメンバーからは、今までの活動状況と社会環境変化を踏まえ、それをを見越した革新的な考えを持って使命である奉仕活動を目指してもらい大きな変化に見合うリスク経営が早急に必要ではないかとの意見でした。

これからの社会が必要とされる名古屋 YMCA の存在と目指す活動は何か、またそのサポートクラブとしてのグランパスクラブは何を目指していくのか真剣に考えさせられる卓話でした。

三 井

学 生 2000円・
小中学生 1500円・
幼 児 無 料

飲み物はグランパスのファンドとする。参加費合計はYMCAで管理(経費を除く)。

2. 国際街頭募金について：10月2日
9月21日、10月1日に委員会開催。(服部、佐藤両君が担当) 場所は 大須・栄・事の三箇所。(八事は南山担当)
3. チャリティランについて：11月5日
グランパスは例年のように、食事はきしめんをサービスする案。
チームは、グランパス2チーム、シティチーム(協賛企業)2チームの予定。
4. 南山バザー：10月23日
グランパスはゲームで出展する。

荒 川

特集：第21回アジア地域大会報告



大会日程

2005年8月26日

場 所：COEXコンベンションホール

開会式、表彰式、就任宣誓式、主題講演
祝賀公演、直前エリア会長招請晚餐会、
直前エリア会長講演

2005年8月27日

場 所：教育文化会館

早天礼拝、エリア役員報告、分科会による討議、昼食の後各コース観光、エリア
会長招請晚餐会(アジア文化の夜：各国
代表による公演)

2005年8月28日

場 所：教育文化会館

教会礼拝(ヘップル聖殿)、ワイズメンの時間(次期エリア会長政策発表、分科会結果発表、ユース大会報告)、閉会式

第二例会報告



1. YMCA加藤総主事より 根ノ上まつりについて

参加者の募集はYMCAにて行う。
(名簿にて郵送または配布する) グランパスが主管になっていますので、メンバー及びリーダー等が主体となる。

参加費 大人 2500円・



アジア大会報告 1 (早川)

私は初めてワイズの国際大会に出席しました。8月25日の名古屋は台風の為心配をしましたが、26日の出発は影響もあまりなく出発する事ができました。まず26日朝荒川兄の車に便乗し、小林中部部長、服部兄ご夫婦とセントレアに到着。少し早いので軽く朝食をすまし、出発ロビーへ。この頃には在名クラブも加わり少し遅れで出発しました。インチョン国際空港に午前中には着きバスでホテルに。ホテルで阿部兄の部屋が私の予約ミスで通常の部屋になり、冷や汗でした。少し休憩後アジア大会のコンベンションセンター（COMEX）へ。この会場は総合施設の為大変広く迷子になりそうでした。ここで我がクラブの携帯電話が大変役に立ち、ようやく受付を済ませることが出来ひと安心。服部兄がサンドルクラブのSHIN事務局員とお会い出来ましたので、サンドルクラブの会長の鄭さん、梁さん、朴さん、等のメンバーに再会しました。



服部兄の通訳と朴さんの日本語で大変たすかりました。アジア大会は主に韓国語なのでサッパ

リ判りません。ロビーで西日本区の諸兄にもお会いしました。その後サンドルクラブの諸兄と夜食の相談をして、アルゴ夫婦の意見で焼肉に決定！。予約をしていただき SAMWONG GARDEN に案内していただきました。朴さんは日本語が大変堪能で、食事の説明など大変助かり、おいしくいただきました。食後屋外で民族音楽を聞きホテルに戻りました。ホテルに戻ると各部屋に籠盛りのくだものが届いており、これには驚きました。後で判った事ですがサンドルクラブのメネットからのプレゼントでした。各部屋から諸兄が集まり、毎朝朝食の変わりに美味しくいただくことに決定！



27日午後にサンドルクラブと教育文化会館の会場で合流し、バスでソウルの街をサンドルクラブのメネットも参加して賑やかです。いろいろなおやつも用意をされ恐縮しました。その後夕食はアジア会長主催の晩餐会にサンドルクラブの諸兄も参加、交流を深めることができました。



28日朝サンドリクラブの諸兄・メネット・コメットと大長今のテーマパークに（この企画はあるご夫婦要望によるものです）。この3日間の間に言葉には表すことが出来ないくらい細やか

な心ずかいに感謝します。

サンドルクラブの諸兄及びメネット、関係者の方々にお礼を申し上げたいと思います。

アジア大会報告 2（服部）

今回の韓国ツアーは、私、服部のわがままから思いがけないグルメツアーとなりました。仁川空港に到着後現地ガイドの案内で ホテルにチェックイン、まずは大会会場へ早川会長ほか 2 名は登録を、私とメネットは？（登録をしないままソウル入りしまして…この先大丈夫？）



大会会場でサンドルクラブのメンバーと再会、ここで早速「どこか美味しい所は？」と質問「何が食べたいですか？」（と日本語で朴さん…帰国後直前会長と知る）に「焼肉！！！」と一言、ここから小泉首相も立ち寄ったと言うVIPご用達の焼肉レストラン「三元（サム・ウォン）ガーデン」中庭では民族楽器の生演奏がある最高級なお店で相変わらずのソウル式のおもてなしとなりました。



内容はカルビ、プルコギ、冷麺、ご飯と味噌汁、おかわり自由の野菜がいっぱいでお腹もいっぱいになりました。これで一日目のソウルツアーは大満足の終わりに。

渋滞のなかホテルに送っていただき、そこでサンドルのメネットさんお手製の飾り付けのフルーツバスケットが各部屋に渡され連日フルーツ漬けに、残る 2 日では食べ終わらず最後はホテルのサービスへプレゼントしてきました。

さて、二日目の昼食は 5 人で梨泰院（イテウォン）に出かけおかゆを、ここは前回（サンドル 20 周年の記念例会）にも行った日本語のわかるお店でそれぞれ注文、ちなみに私はアワビのおかゆを、ちょっと高めですが絶品でした。午後からはサンドルメンバーと台北ユニオン（サンドルのもうひとつのIBCクラブ）のメンバーと観光に（詳細は会長報告に）。



夜は大会会場に戻ってのディナー。一応コース料理（肉が少し焼きすぎ）で話も弾みました。三日目、最終日はこちらの希望を聞いて下さり、韓国ドラマ「宮廷女官チャングムの誓い」のテーマパークへ。



昼食は阿部さん希望の仁川港近くの海鮮鍋のお店へ。ここちよい辛さと海の幸に舌つづみ、

腹つぶみ。それから市場、マーケットと回っていただきお土産もバッチリ！

今回の韓国ツアーもサンドルメンバーのおかげで、われわれだけではとても出来ない大グルメツアーとなりました。

サンドルの皆さん、カムサハムニダ。(服部のわがままにお付き合い下さって感謝、感謝)

服部メネットの「チャングムの誓い」のセット訪問まで



服部智子

このソウルツアーに参加することになってNHKのBS2で放送中の「チャングムの誓い」のオープンセットがテーマパークになっているのを知り是非行ってみたいと思い、IBC担当のM氏にサンドルクラブに希望してみてくれるようお願いしました。

このお願いがいつのまにか冬ソナ希望に…(失笑) 韓国ドラマは冬ソナだけではない



いよいよ26日になりテーマパークには行け

るのか？わからないまま現地に到着しました。

大会2日目に「大長今」のテーマパークのツアーがあり、これに参加するのなら…。

ところが「明日はサンドルクラブ独自のツアーになります。それで明後日は冬ソナの舞台の春山(チュンチョン)に行くことになってます」と言われ、残念ですが今回は春山を娘(一緒に韓国ドラマを見ている)へのお土産話にすることにしようと思いました。

27日はワールドカップのスタジアムに始まり、漢江クルーズ、水族館とまわりとても楽しい時間でした。クルーズの船で朴さん(日本語が上手い)が「明日の予定ですが、今回来られるメネットがヨン様ファン(私は違います)で冬ソナの舞台に行きたいと聞いて春山に行くことにしていましたが、服部さんの奥さんはチャングムのテーマパークに行きたいと言っているのです。そちらに案内してもいいのですが、どうですか?」と言われました。

はい、ぜひそうしたいです(笑)

そしてソウル郊外のテーマパークに出発しました。



サンドルクラブのメネットの皆さんもはじめて行かれるとのこと バスの中では私たちのお土産の豆菓子や揺れる車中で器用に剥いてくださる梨をいただきながら向かいました。

王宮のセットについて先日の放送で見た脇役の俳優が ミーハー気分でいっしょに写真撮影をお願いすると快く並んでくれ日本語で話しもできてびっくりでした(後は写真を見て下さい)というわけで無事に目的を果たせてよかったです。

最後にお土産にいただいたのがペ・ヨンジュン(ヨン様)の顔のついたペアカップでした。もし熱烈なヨン様ファンがいましたら、アジア大会参加メンバーに聞いて見て下さい。

アジア大会報告 3（阿部）

今回のアジア大会は私にとって一つの転機となる韓国訪問となりました。なぜなら、車椅子になって初めての海外であり、初めてのサンドルクラブ公式訪問であったからです。思い返せば、7～8年振りに韓国へ行く事が出来ました。

車椅子になると、一般的には自分から行動を起こしたりするのは面倒であり、廻りに迷惑をかけてしまうという気持ちも働き、こうしたものには参加しにくいものです。



しかし、今回は他のグランパスメンバーも参加されるので、迷惑をおかけするのは承知で参加させて頂きました。結果的には自身にとって有意義で充実した時間を過ごせたので、同行をお願いした早川会長、荒川さん、服部夫妻には大変感謝を致します。サンドルクラブの方々も大歓迎して頂いて、ありがとうございました。

さて、せっかく参加させて頂くのであれば、韓国のバリアフリーについても勉強をしてこようと思い、大会やサンドルクラブなどの報告は他のメンバーにお願いをして、ここではあえてそんな話をさせていただきたいと思います。



まずは KorianAir の対応から。これは大変ラフというか、自由にさせていて、飛行機の入口に着いているのに、スチュワーデスの態度は、車椅子の人が来たわね！という人事の様な態度！！

しかも飛行機に入る乗換用の車椅子も用意されていない始末。仕方なく、メンバーの介添えで飛行機の中に自分の車椅子で入るも、ほとんどその間スチュワーデスは関与しませんでした。因みに、降りるときは車椅子を持って待っていてくれましたが、帰国の際には出口に専門の担当者すら現れず、飛行機の中から出るに出られない状況でした???



これらの対応は日本の航空会社に慣れていたので、ラフさには笑うしかない状況でした。

次にインチョン空港ですが、トイレも使ってみました。エレベーターを含む他の施設はいたってノーマルで使いやすく、これらはやはり新しい空港と感じさせられました。

ちなみに、障害者のマークは韓国でも同じでした。やっぱり、万国共通ですね！次に街の様子です。アジア大会会場やサッカー場、ホテル、水族館などはバリアフリーが整いよかったのですが、食堂やレストランなどの民間施設には対応されておらず、段差やトイレは苦労しました。中でも、韓国ブームを象徴し、即興で造られた映画村は、わざわざ障害物があるような施設で、まるで障害物レースをしているようでした！サンドルクラブを含め、皆さんに迷惑をおかけしました。

歩道や道案内などは一応対応はされているも、でこぼこであったり、案内看板が見にくかったりで、韓国でバリアフリーアドバイザーらしき仕事をすれば商売になるかなあ～（笑）なんて感じたくらいでした！

しかしながら、こうした考えは甘いなあ～と感じてしまいました。なぜなら、街の中を車椅子で走りましたが、韓国では車椅子の人を見掛

けるのもあまりない上、車椅子の人に韓国の人道を譲ってくれたり、じろじろと見たり、接し方や対応など慣れていないと感じたからです。日本においては、車椅子利用者の社会進出が進むにつれ、施設の充実は勿論、廻りの方々の対応や目線みたいなものが普通になりつつあります。韓国では先にも書きましたが、まだまだ車椅子に乗り、仕事をしている人は少ないんだな～と肌で感じた次第でした。



バリアフリーに関する技術的な詳しい話や建築的なディテールなどについては別の場でお話するとして、韓国ではすでに技術的には基礎的なバリアフリー対応が可能なレベルまで技術力を上げて来ていて、日本においてはバリアフリーで一歩も二歩も先を行っていると思像していましたが、そんなに技術的には差がないレベルまできているのを知ったのは今回の大きな収穫でした。



ソフト面のバリアフリー対応ですが、これからは韓国でも、徐々に発展していくと思います。われわれ日本人にはバリアフリーをさらに発展し、誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインを推進し、アジアの良きお手本となること目指したいと考えます。これもワイズメンとして

何ができるか考えさせられた良い転機でした。

ともあれ、同行していただいたメンバー、サンドルクラブの皆さんありがとうございました。皆さんのお陰で訪問することができました。

アジア大会報告 4（荒川）

今回の韓国行きの動機は、海外でのワイズメン大会を経験したかったのと美味しい焼肉食べたかった、その2つだけであった。目的は十分達成でき満足ですが、後者はサンドルクラブの過剰ともとれる接待にいささか不安を覚えた。不安とは彼らが来日した際にあれだけの接待に対応できるものがグランパスで可能なのか。グランパス各位その時は覚悟されよ。



さて、久々の韓国（ソウル）はその緯度もあって猛暑の名古屋に比べればさっぱりとした気候で快適でした。自由時間が少なかったのは少々残念ですが、サンドルの企画したハンガンの河昇リクルーズなどは、こんな過ごし方があったのかと、初めての経験で非常に新鮮でした。その他異国でとつかクラブの加藤・安永両氏にお会いし、DBC交流の話をするなど、ワイズの世界は広いと感じ入りました。あとは参加各位が述べているので省くこととしますが、今回はやはり阿部ちゃんが述べているように、いつもとは少し違った視点でツアーを体験でき勉強できたように思います。サンドルメンバーの阿部ちゃんへのサポートは積極的で、ほんとには日本人組がすべきところを殆どやって頂き頭が下がる思いでした。サンドルは屈強なメンバーが多いので阿部ちゃんも我々より安心できたと思います。しかし、サンドルクラブのメネットは何時見ても肌が綺麗で若々しい。食事の影響でしょうね。（日本のメネットがダメだというこ

とでは決してありませんので誤解なきよう)。

最後に、ほんとは韓国行きの目的はもう一つありました。2日目のイテウオンで達成できたのですが、詳細は別途個別にお話します。来年の国際大会はプサンです。また楽しみの一つになりそうです。



D B C コーナー

グランパスクラブの皆さまこんにちは。ブリテンへおじゃまさせて戴きます。

東日本区では、ワイズ年度の中で様々な行事が9月に集中しています。季節的に秋という先入観から涼しさを想像してしまいましたが、気温は8月と同じ、違いは湿度が高いので夏より暑さを感じ、外出時のお化粧も帰る頃には、お風呂上りのような顔になってしまいます。

さて、西日本区でも風の便りで耳にしておられる方もあるかも知れません。とつかクラブでは、現在、活動の一つに新しいクラブを誕生させるためにとても忙しい毎日を過ごしています。9月ブリテンでも設立準備例会の記事をお読みになりお解りいただいていると思いますが、今月21日に第1回仮例会が開かれ、東日本区から浅見理事が参加され、ご自分の入会時のことを思い出しワイズメンとはから始まり、中ほどに家業の「蛇屋」さんのお話で、会場は笑いで盛り上がり、ワイズ活動の楽しさを皆さんへ話されました。また、「蛇のミイラ」や「すっぽん粉末」を持参していただき、参加した方たちは手に取り、高くもちあげたり、横にしたりと、方向を変え、見せて戴いていたようでした。遠目に一寸不気味な風景でした。

参加した中で私にも学ぶことができました。

- ・毎月の例会では参加者が少なくとも定刻に始め、定刻に終了するなど、
- ・例会には服装をきちんとして参加するなど、

- ・例会参加者が必ずしゃべることなど、
- ・一緒に食事をする連帯感など、
- ・例会では卓話で異業種の方のお話を聞くなど、
- ・相手の立場への思いやり、やさしさ、相手を追い込まないことなど、

ワイズ活動で「緊張感」は、非常に大事なことですと教えていただきました。

新しいクラブを創るということは、女性が子供を産むのと同じ大変さがあることのようにです。

いつになるかまだ未定ですが、チャーターナイトの時にはグランパスクラブへもお知らせしますので、ご都合がございましたらご参加くださいませ。

安田 悦子



中部部会開催

2005年9月18日(日)名古屋南山ファミリーYMCAにて第9回中部部会が開催されました。愛知万博の影響で会場がシンプルなものになりましたが、手作り部会的イメージが功を奏して大変好評でした。ホストの南山クラブメンバーは大変お疲れ様でした。



参加者の集合写真



小林中部部長の「ごめんなさい」挨拶



佐野西日本区理事の挨拶



三井EMC事業主査による研修会

そ の 他

1. 第9西日本区大会実行委員会便り④

実行委員会による部会キャンペーンが各地で繰り広げられ、名古屋での開催がアピールされています。横断幕と一緒に行われる「名古屋弁講座」も、会場の皆さんの笑いを取りながら名古屋のイメージを植え付けるのにとっても役立っているようです。「よおけで、行くでよ」と、会場から返してくれた言葉は実行委員にとって、とてもうれしいものです。

部会でのアピールは10月10日の中西部会まで続きますが、いよいよ今後は具体的な内容の肉づけが始まります。会場は名古屋国際会議場という申し分のない場所が獲得できました。肝心なのは、そこにワイズがたくさん集まり、参加し、交流し、感動する大会にしなければなりません。会場、広報、登録、総務など各委員会の準備も順調に進んでいます。

名古屋のワイズメンの皆さん。一層のご支援とご協力をよろしくお願いします。

実行委員会副委員長 橋爪 良和

第1報

<http://www.ys-chubu.jp/nihonku001.gif>

大会ホームページ

<http://www.ys-chubu.jp/west/>

2. ネットDBC

みなさん頑張って書き込んでください。

<http://9029.teacup.com/classy9/bbs>

3. 今月の誕生日

happy birthday

今月は該当者ありません。
どこかの誰かさんのために

congratulation!

4. じゃがいもについて

じゃがいも・かぼちゃファンドの到着の件ですが、10月15日(土)13時~14時頃、南山YMCAに到着予定です。

荷下ろしのお手伝いの出来るメンバーはお手伝い下さい。また、じゃがいも・かぼちゃの引き取りは15日か16日中をお願いします。

早 川